

**令和7年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立表郷小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**(1) 教科の平均正答率比較表**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%	○				
算数	58.0%	○				
理科	57.1%	○				

## (2) 各教科結果

### 【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%		○			
情報の扱い方に関する事項	63.1%	○				
我が国の言語文化に関する事項	81.2%		○			
話すこと・聞くこと	66.3%	○				
書くこと	69.5%	○				
読むこと	57.5%	○				

### 【考察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、情報を正確に読み取り、正しい答えを選ぶことができていました。日頃の授業でも、資料の中から自分が正しいと思う情報を選び、その理由を考えるなどの指導を継続していきます。
- 文章を正しく読み取ることや、自分の考えを条件に合わせて書くことに課題が見られました。物語文の登場人物の心情を叙述を基にして読み取ることや、目的や意図に応じて自分が伝えたいことを分かりやすく書くことを重点的に指導していきます。また、日常生活でも、読書タイムを活用し、本を集中して読む習慣を身に付け、語彙力が向上するようにしていきます。

### 【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%	○				
図形	56.2%	○				
測定	54.8%	○				
変化と関係	57.5%	○				
データの活用	62.6%	○				

### 【考察】

- 基礎・基本の確実な定着を図るために、テープ図や数直線に示して数値や式の意味について考えさせたり、適用問題の時間を確保したりするなど、指導の工夫を図ります。また、「計算コンクール」などの機会を通して反復練習にも積極的に取り組ませていきます。
- 記述式の問題については、記述の正答条件が不足していたり、無答が見られたりしました。授業で友達と話し合ったり、図や言葉にしてノートにまとめたりするなど表現活動に力を入れていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%	○				
粒子	51.4%	○				
生命	52.0%	○				
地球	66.7%	○				

【考察】

- 「観察の記録や実験結果、グラフなどを基に問題解決の道筋を構想し、自分の考えをもつ」問題では全国正答率を上回りました。授業の中で、課題に対し「予想→実験・観察→結果の考察」を丁寧に行ってきた成果が表れており、問題解決に必要な視点や考え方が身に付いています。
- 他の領域と比べて「エネルギー」領域の正答率が低い結果となりました。電気や電流の問題では、基本的な性質は理解しているものの、知識を活用して問題を解くことに課題がありました。学習したことを自然や日常生活に適用して考察する場を意図的・計画的に設定し、活用する力を高める指導を行います。

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえ ばできている	どちらかといえ ばできていない	できていない
小 6	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
	表郷小	14.9	74.5	6.4	4.3

(単位 %)

### 【考 察】

- 自主学習につながる目標を自分なりに立てて取り組ませたことで、自分から学ぶ意欲が向上してきています。家庭学習の質の向上と自主学習への効果的な取り組み方についても指導していきます。
- タブレット型PCに慣れ親しむことで、わからないことや詳しく知りたいことがあったときは、すぐにインターネットで調べる習慣が身につけてきています。調べたことを基に考えたり表現したりすることができるよう情報活用能力も高めていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
	表郷小	8.5	6.4	34.0	27.7	21.3	2.1

(単位 %)

### 【考 察】

- 本校が目標としている家庭学習時間70分（学年×10分+10分）を半数近くの児童が満たしていることが判断できます。
- 「学年×10分+10分」が達成できていない児童には、自主学習の計画を目にとまる所に掲示し視覚化させたり、友達の自主学習ノートを参考にしながら、自分でもできる学習方法を考えさせたりしていきます。家庭と連携し、学習時間の確保と充実に努めるとともに、メディアコントロールの意識化と再確認をしていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.2	48.2	17.1	3.3
6	表郷小	23.4	61.7	10.6	4.3

(単位 %)

【考 察】

- 授業の「振り返り」では、どんなことが分からないのか、もっと詳しく知りたいことは何なのかを考える時間を設け、自分の課題を明確にすることで、主体的に学ぼうとする姿勢が育ってきました。
- 「何が分かって、何が分からないか」だけでなく、自分の成長や変容についても考えられるよう、振り返りの質を高める指導をしていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない	無回答
小	全 国	49.9	42.0	6.4	1.5	0.2
6	表郷小	55.3	40.4	4.3	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校は「楽しい学びのある学校」をめざし取り組んでいます。学級の中で安心して話せる、話を聞いてもらえるという雰囲気作り（学級経営）も子ども達にとって「楽しい学び」の一つになっていると考えます。今後も、楽しさと学力の定着が直結するような学級づくり、授業づくりを工夫していきます。
- 友達と協力して課題を解決していくことの楽しさを味わわせ、友達の考えを聞きながら共通点や相違点を整理していけるようにします。また、友達や周りの人の考えに触れることで、より一層考えが広がることを実感できるよう指導していきます。